

ハバロフスク日本センター所長 黒坂昭一殿

展示会《省エネ：テクノロジー，計器，設備》

(イルクーツク市，2008年9月23 - 26日) へのご参加について

拝啓 黒坂殿

2008年9月23 - 26日にイルクーツク市の展示センター《シブエクスポセンター》において開催される第11回国際展示会《省エネ：テクノロジー，計器，設備》にご自身のご参加を賜りたく、貴殿をお招き申し上げます。

この展示会はアンガラ川沿岸地域の実業生活における重要な出来事です。その開催にはロシア連邦商工会議所、地域間協会《シベリアの一致》、イルクーツク州およびイルクーツク市行政府、イルクーツク州の社会団体、地域のエネルギー・コンプレックスの主導的企業および組織の支援を受けています。

本展示会は毎年、アルミ産業、採鉱産業、石油・ガス産業、木材加工産業、輸送部門、住宅・公営事業を含むさまざまな部門および生産施設における省エネの新機械のサンプル、イノベーション・テクノロジーおよび先進的方法を出展する商社および会社を最大120 - 130社集めています。

本展示会にはロシア企業のほか、米国、ドイツ、ウクライナ、フィンランド、スウェーデン、中国、モンゴルその他を含む一連の国の商社と会社が積極的に参加しています。

本展示会では、省エネのテーマに関する会議、セミナー、《座談会》、その他の行事を含む実務プログラムがその構成部分になっています。ご記憶のことと存じますが、貴殿がイルクーツクを訪問された際に私どもはハバロフスク日本センターあてに、展示会の開催中に日本の専門家の参加を得て実務的行事を組織することに関して私どもの提案をお出ししました。ほかでもない今回の展示会への日本側専門家の参加は、経験の交換と新たな実務的接触の開始のためにとりわけ成果のあるものになるはずだと考えます。といたしますのは、本年7月1日からロシアの電力産業市場と電力料金は大きな変化を受け、省エネ・テクノロジーの問題がいまだかつてなく切実なものになっているからです。

省エネ・テクノロジーの利用における日本の大きな経験を考慮して、私どもは本展示会の枠内で本年9月25日に日本の専門家たちの講演および発表を含む《座談会》を組織いたしたく、その実現に貴殿のご援助をお願いするしだいです。

敬具

ОАО «Шпрехсростентер» 社長 А. Г. Шяповароф

公開株式会社 (OAO) 《シブエクスポセンター》

ロシア, 664050, イルクーツク市, バイカリスカヤ通り, 253-a

Tel.: (395-2) 353-139, 352-900, 352-239

Fax: (395-2)358-223, 353-033

E メール: sibexpo@mai.ru, HP: <http://www.sibexpo.ru>

ハバロフスク日本センター所長 黒坂昭一殿

協力の可能性について

拝啓 黒坂殿

イルクーツク州は長きにわたり日本および日本企業と友好的な関係をもっています。この関係を深めるために 2002 年には東京で大規模なプレゼンテーションが行われ、2007 年には大阪の日露経済フォーラムでイルクーツク州の観光資源について紹介されました。日本のデレゲーションはバイカル経済フォーラムの常連です。

これらの措置の大部分においてその組織者になってきたのがイルクーツク市の総合展示施設 OAO 《シブエクスポセンター》です。当センターのパビリオンでは年間最大 35 件までの展示会が開催されています。センターは 4,500 平方mの展示面積と、会議行事(会議、セミナー、講習会)の実施に必要な設備を有しています。

私どもは貴殿が所長をしておられるセンターがシベリア・極東地域のロシア企業家たちのために行っている講習セミナーの組織活動について知っています。

ハバロフスク日本センターは、OAO 《シブエクスポセンター》と共同で日本とイルクーツク州のいっそうの友好関係発展に貢献できると私どもは考えます。以上を踏まえて、私どもは次のことをご提案します。

◎ OAO 《シブエクスポセンター》をベースにして多部門にわたる、または部門別の日本商品展示会を組織すること；

◎ OAO 《シブエクスポセンター》が開催する展示会への日本企業家の参加を支援すること (2008 年度と 2009 年度の展示会プランを同封します)；

◎ ハバロフスク日本センターによる講習セミナーの組織のために OAO 《シブエクスポセンター》の能力を利用すること。

建設、木材加工、省エネ、観光の諸問題に関するセミナーが最大の関心を集めています。

ОАО《シブエクスポートセンター》は、講習セミナーの組織のために設備完備の会議場を提供し、潜在的な参加者を招き、行事の広報支援を保障するでしょう。

上述の提案にご関心がおありの場合には、私どもは協力の条件をご相談する用意があります。

敬具

社長臨時代行 A. G. シャポヴァロフ